

# 安全データシート

ページ: 1/11

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 09. 08. 2024

製品: Acronal® 7043

バージョン: 2.1

(30564781/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

## 1. 化学品及び会社情報

### 品名:

Acronal® 7043

#### 供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

#### 緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

## 2. 危険有害性の要約

#### 【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

#### 【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:

規制／注記にしたがって保管および取り扱いを行なえば、特に危険はない。

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 09. 08. 2024  
製品: Acronal® 7043

バージョン: 2.1

(30564781/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

変性スチレン・アクリル系樹脂のアンモニウム塩, 水溶液

#### GHS分類に寄与する成分

##### スチレン

含有量 (W/W):  $\geq 0\%$  -  $< 0.1\%$   
CAS番号: 100-42-5  
化審法: (3)-4  
労働安全衛生法: (3)-4

誤えん有害性: 区分 1  
引火性液体: 区分 3  
急性毒性: 区分 4 (吸入-蒸気)  
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A  
生殖毒性: 区分 2 (胎児)  
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)  
特定標的臓器毒性 (反復暴露) (聴覚器官): 区分 1  
水生環境有害性 短期(急性): 区分 2  
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

##### アンモニア水 (25%)

含有量 (W/W):  $< 0.1\%$   
CAS番号: 1336-21-6  
化審法: (1)-314  
労働安全衛生法: (1)-314

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1B  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1  
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)  
水生環境有害性 短期(急性): 区分 1  
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2  
急性毒性: 区分 4 (吸入-蒸気)  
M-ファクター急性: 1

##### ポリプロピレングリコール

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 09. 08. 2024  
製品: Acronal® 7043

バージョン: 2.1

(30564781/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

含有量 (W/W):  $\geq 1\%$  -  $\leq 3\%$   
CAS番号: 25322-69-4  
化審法: (2)-1965  
労働安全衛生法: (2)-1965

急性毒性: 区分 4 (経口)

## 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:  
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:  
蒸気／エアゾールを吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:  
石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:  
直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:  
口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:  
症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。  
処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。特に解毒剤なし。

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:  
噴霧水, 粉末, 泡

[火災時の特有の危険有害性]:  
有害な蒸気  
フューム/霧の発生 火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[追加情報]:  
汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:  
保護具を着用する。

[環境に対する注意事項]:

容器に汚染水／消火用水を取り集める。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

大量の場合: ポンプで容器に回収する。

残渣の場合: 適切な吸着剤に吸着させる。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に使用する場合、特別な対策は必要ない。

安全取扱注意事項:

注意事項は特になし。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器を密閉して冷所で保管すること。

次の温度以下にならないように保護すること: 5 ° C

次の温度以上にならないように保護すること: 40 ° C

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

スチレン, 100-42-5;

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 20 ppm (労働安全衛生法 (JP))

経皮吸収の表示 (日本産業衛生学会 許容濃度)

本物質は皮膚を通して吸収される。

STEL (short term exposure limit : 短時間 20 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 10 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 42.6 mg/m<sup>3</sup> ; 10 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

アンモニア水 (25%), 1336-21-6;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 17 mg/m<sup>3</sup> ; 25 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

STEL (short term exposure limit : 短時間 35 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 25 ppm (ACGIHTLV)

### 【保護具】

[呼吸用保護具]:  
呼吸保護具の着用は不要。

[手の保護具]:  
耐化学薬品保護手袋  
(標準化されたもの。 例としてJIS)

[眼の保護具]:  
側面遮蔽板付き保護メガネ

[一般的な安全及び衛生対策]:  
労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。 上下一体型作業衣の着用が望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	
色:	オフホワイト色	
臭い:	アンモニア臭	
臭いのしきい値:	適用情報なし	
pH:	8.0 – 8.5 (100 % (m), 25 ° C)	(DIN ISO 976)
凝固点:	0 ° C 情報は溶媒に適用される	
沸点:	> 93 ° C 情報は溶媒に適用される	
引火点:	引火点なしー測定は沸点まで実施。	
蒸発率:	測定されていない。	
可燃性 (固体/ガス):	引火性ではない。	
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
自然発火温度:	水含有量に基づくと、製品は、引火しない。	
熱分解:	沸点まで安定である。	

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 09. 08. 2024  
製品: Acronal® 7043

バージョン: 2.1

(30564781/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

自己発火性:	自己発火性なし。	
自己発熱性:	UNクラス 4.2 の自然発火性物ではない。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
放射能:		輸送目的用に放射能はない
蒸気圧:	23.4 hPa (20 ° C) 情報は溶媒に適用される	
密度:	約 1.04 g/cm <sup>3</sup> (25 ° C)	(ISO 2811-1)
相対ガス密度 (空気):	水を含有している。	
水に対する溶解性:	易溶	
湿度測定:	非吸湿性	
溶解度 (定性的) 溶媒:	有機溶媒 可溶	
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow):	試験は、科学的に正当化されていない。	
表面張力:	測定されていない。	
粘度:	300 – 700 mPa.s (25 ° C)	
固形分:	45 – 47 % (145 ° C)	(DIN EN ISO 3251)

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:  
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 沸点まで安定である。

[混触危険物質]:  
避けるべき物質はなし。

[危険有害な分解生成物]:  
通常の手扱い条件下で危険反応なし。

## [危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

## 化学安定性:

本品は、化学的に安定している。

## 反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

#### 急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による):

測定されていない。

#### 急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮):

測定されていない。

#### 症状

(他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

#### 刺激性

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

同様の製剤に対して試験を行なった。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (BASF試験)

同様の製剤に対して試験を行なった。

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

感受性が特に高い個体に対する感作作用は否定できない。 現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

実験または計算によるデータ:

モルモットに対するmaximization法 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

成分に基づき、変異原性効果の疑いはない。

### 発がん性

発がん性の評価:

評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:

成分に基づき、生殖毒性効果の疑いはない。

### 発生毒性

催奇形性の評価:

成分に基づき、催奇形性効果の疑いはない。

### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

この物質の反復経口摂取では物質に関連した影響は生じなかった。

この物質の反復吸入摂取は、物質関連の効果の原因にならなかった。

この物質の反復経皮摂取は、物質関連効果を示さなかった。

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

### 誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

現在の知見に基づく、環境に悪影響を与えないと考えられる。

魚類に対する毒性:



LC50 (半数致死濃度) (96 h) > 100 mg/l, ウグイ (学名 *Leuciscus idus*)  
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

水生無脊椎動物:  
EC50 (48 h) > 100 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (Screening (style of OECD 202), 止水式)  
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

水生植物:  
EC50 (72 h), 藻類  
データなし。

微生物/活性汚泥への影響:  
廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する慢性毒性:  
魚毒性に関するデータなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:  
ミジンコに対する毒性については、データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:  
陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

## 移動性

環境区分間の輸送評価:  
水面から大気中に揮発しない。  
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

## 残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):  
製品中のポリマーは、難分解性である。

## 生体蓄積性

生体蓄積性:  
現在の知見に基づくと、環境に悪影響を与えないと考えられる。

## [追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:  
生物学的廃水処理設備における処理は、法的および社内規則に従って行わなければならない。

その他の環境毒性情報:  
経験により、製品は、環境にたいして有害な効果を持たない。

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 09. 08. 2024  
製品: Acronal® 7043

バージョン: 2.1

(30564781/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

### 13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危 非該当

険有害性クラス）:

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

#### 海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されてい  
ない

国連番号もしくはID番 非該当  
号:

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における 非該当  
危険有害性クラス）:

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

海洋汚染物質: 非該  
当

使用者への特別注意事 知見なし  
項

#### Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under  
transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping 非該当  
name:

Transport hazard 非該当  
class(es):

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable  
Marine pollutant:  
no

Special precautions for 非該当  
user

#### 航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されてい  
ない

国連番号もしくはID番 非該当  
号:

品名（国連輸送名）: 非該当

#### Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under  
transport regulations

UN number or ID 非該当  
number:

UN proper shipping 非該当  
name:

BASF 安全データシート  
日付 / 改訂: 09. 08. 2024  
製品: Acronal® 7043

バージョン: 2.1

(30564781/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当	Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物

ベンゼンスルホン酸のアルキル (C=10-13) 誘導体のナトリウム塩  
ポリ（オキシエチレン）アルキル（C12-14）エーテル  
2-(2-エトキシエトキシ)エタノール  
化審法  
優先評価化学物質  
＜ 1

### その他の規則

## 16. その他の情報

本品は工業用品質であり、記載または合意のないかぎり、用途は工業用のみとする。上述および推奨の使用法に記載されている。他の用途については、製造業者に問い合わせること。特に、特別な基準や規制の対象である製品に適用される。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。